

第三期 第1回 次世代リーダー養成アカデミー開講



平成25年1月18日、三期目を迎えた「次世代リーダー養成アカデミー」の初回が開講した。

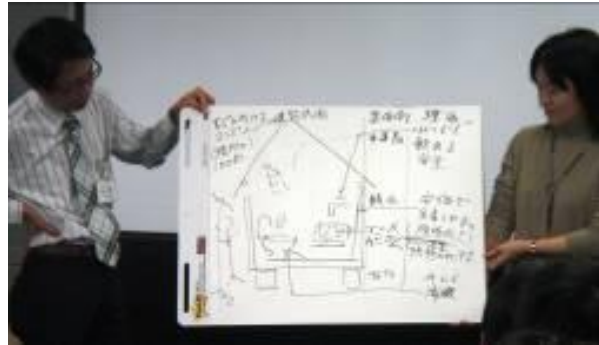
本アカデミーは、次世代を担う人材が、業界内外の有識者による計3回のテーマ別連続講演を通じて、同業他社の有望人材との情報共有ならびにコミュニケーションを形成し、自らのレベルアップが図れるように企画されている。また、受講者を男女同数にして、次世代リーダーとしての女性の活躍を支援する機能も併せ持っている。JISA 人材部会・企画WG(座長:小野田祐子・TIS(株)執行役員)が企画ならびに運営を担当する。

初回は、(株)シーエーシー執行役員メヘタ・マルコム氏を講師に迎え、新興国におけるビジネス開拓をテーマに、グローバルな視野拡大を図ることを目的としたもので、JISA 会員企業から30名が受講した。



はじめにマルコム氏は、「日本企業の新興国における市場開拓」と題して講演した。新興国市場の可能性及び市場開拓において挑戦すべき点、成功に導く点などについて語り、受講者に、「かつて日本企業は先進国市場で大成功を収めたにもかかわらず、なぜ新興国市場では突出できないのか」について考えるよう促し、続くグループ討議へ導いた。

男女半々6名ずつ5グループに分かれたグループ討議で受講者は、「これから新興国市場で成功すると思われる日本の業種とその理由」について、各自が描く、日本の有望業種像を共有しながら話し合い、各グループでまとめた結果を発表した。



講評でマルコム氏は、「各グループの発表を聞くと、今後新興国市場で成功する可能性のある業種や製品は確かにある。ただし、その業種や製品に関係する日本の企業が自らの強みや市場ニーズを理解した上で、本気で開拓をする意志があるのか、また、そのための人材戦略をどのように立てるかが重要な鍵となる」と述べ、最後に、「早くチャンスを掴まなければグローバル競争に負けてしまう。時間的余裕はない」と締めくくった。

終了後には懇親会が開かれ、受講者は、「日常業務のなかでは考える機会の少ないテーマであり、たいへん刺激になった」と感想を述べていた。

次回は、平成25年2月15日に、一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会から細川泰秀顧問を講師に迎え、「日本と企業のイノベーション」をテーマに開講する予定である。

(薦田)